

講座名：言語科学研究

注 意 事 項

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の合否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TAOのメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

令和8年度(2026年度)後期3年の課程 (春季)	志望講座	言語科学研究
------------------------------	------	--------

次に挙げるトピックの中から一つを選択し、それについて日本語または英語で書かれた論文（学術雑誌に掲載されたものに限る）を二本選んで、次の要領で論述しなさい。

1. 論文執筆者名、論文タイトル、刊行年、雑誌名、巻号、ページ番号を明記する
2. はじめに、1～3 ページ程度で内容を要約する
3. 続けて、1～3 ページ程度で論文の内容を批判的に検討する

（批判的というのは否定的という意味ではなく、論理的かつ客観的に長所と短所を記述することです）

なお、回答は日本語または英語で書きなさい。

トピック

- (1) 動詞残留型動詞句省略
- (2) 手続き的意味
- (3) 自動化
- (4) バイリンガル相互活性化モデル+ (BIA+)
- (5) 漢文訓読の歴史

令和8年度(2026年度)後期3年の課程 (春季)	志望講座	言語科学研究
------------------------------	------	--------

Select one of the topics below, choose two articles on the topic written in English or Japanese from academic journals and discuss as follows:

1. Specify the author name(s), year, title of article, name of journal, volume number, and inclusive page numbers for each article.
2. Summarize each article in 1-3 pages.
3. Then, write a critical review of each article in 1-3 pages. ('Critical' does not mean 'negative'; evaluate each article in a logical and objective way by identifying the strengths and weaknesses of the arguments.)

Write your answer in English or Japanese.

Topics

- (1) Verb-stranding VP-ellipsis
- (2) Procedural meaning
- (3) Automatization
- (4) Bilingual interactive activation model⁺ (BIA⁺)
- (5) The history of *kanbun kundoku*